

コロナ期の園生活についての再度のお願い

通常保育の再開に当たり、ぜひご一読下さい。

1) ご家庭

- ①よく寝て、よく食べる
- ②当日朝の体調を確認
- ③健康観察カードに記入し、メッシュケースへ *教職員も記入
- ④出発前に入念な手洗い *自家用車・バス通園のどちらも
- ⑤マスクを着用して登園・バス乗車
 - *0・1歳児は着用しない
 - *全員、予備のマスク1枚をメッシュケースへ
- ⑥送迎の保護者は園内に入るのを控える
- ⑦身近で感染者が発生したら園長へ連絡 *プライバシーに配慮



2) 幼稚園・いちご組

- ①園内各所の消毒 *スクールバスも同じ
- ②ポンプ式消毒液と石けんを常備
- ④全教室・保育室のプラマイオンクラスター発生機を活用
- ⑤教室・保育室の換気、空間を広く利用 *エアコン使用時も定期換気
- ⑥今後、体温計測の機器導入を検討

3) 保育時間・ひまわり保育

- ①マスクは適宜着脱する、マスク着用法を指導
- ②節目節目の入念な手洗いとその指導
- ③健康観察
- ④マスクを着用して降園 *0・1歳児除く



4) 教室・保育室内のテーブル、バスシート

- ①半数の登園時、教室内ではテーブルを離し、1テーブル2名の対面。
- ②全員の登園時、教室は1テーブル4名の対面。
- ③半数のバス乗車時、1シート1名が着座。
- ④全員のバス乗車時、1シート複数名が着座。
- ⑤いちご組は、保育上、距離を開けた着座や食事は困難。



5) マスクの廃棄【追加】

- ①マスクが汚れた場合、登園時のマスクが見当たらない場合、予備のマスクを使います。
- ②汚れたマスク、落とし物のマスクは園で処分します。
 - *名前のある手作りタイプを除く

※このお知らせは、らくらくアプリ、らくらくMEGUMI通信第5号の内容と同じです。

再度のお願いにあたり、園が参考にした最近の情報です

*文章を省略したり、「てにをは」を編集しています。

子育て世代の新型コロナ対策「絶対に感染しないために守りたい行動とは」

出所：TSSテレビ新広島ニュース 2020/05/16(土)12:00放映

子育て世帯が今するべきコロナウイルス対策を専門家に聞きました。お話を聞いたのは広島大学病院で感染症が専門の大毛教授です。

Q これから休校になった中で子供がどういった行動をとるべきだと思いますか？

A 休校だろうがなんだろうが人込みには行かない。人込みに行く時はマスクする。普段から手をきちんと洗って顔を触らないようにする。ご飯はちゃんと食べて夜はよく寝る、ずっとしなくてはいけないことは一緒です。

・・・どうやったらかからないかというポイントですが、3密、3密と言われていますが、3密プラス手、手を気を付けていただく。それでしたら、まずかかりません。

Q 休校中、身体はしっかり動かしたい子ども達はどうしたらよいのでしょうか？

A 止める理由はないです。密集して近距離でお互いにしゃべる機会が増えるのでしたら、念のためにマスクはしておいた方がいいです。

注意するのは、おやつなどの飲食の時。何が問題かという点、マスクをはずすこと、汚れているかもしれない手で触ること、この2つがリスクがある。

ポイントは①3密の回避と②手です。こまめな手洗いを心がけてください。そしてマスクは、やはり有効です。



夏のマスクは「暑い・苦しい」怖い熱中症リスク、医師に聞いた上手な使い方

出所：沖縄タイムス 2020年5月25日付け

新型コロナウイルス感染対策で、県内でも日常生活でのマスク着用が定着した。適切な状態で長時間の着用が難しい子どもの場合、どうすればいいのか。・・・感染症の専門家は適切に着用できない子の場合、無理に着けさせる必要はないと指摘、手洗いや換気の徹底などを優先するよう提案する。(社会部・西里大輝)

■園児の着用どうすれば？

那覇市の首里ライオンの子保育園の末広尚希園長は散歩する子どもたちの息苦しそうな様子に「着ける必要があるのか考えてしまう」という。感染対策で今はマスク着用が必須の雰囲気も感じている。「笑顔が見えづらく、子の愛着形成の観点からも望ましくないが、着用しないわけにもいかない。ジレンマを抱えて保育している」と困惑する。

那覇市の別の保育園は、子どもが「暑い」「苦しい」と不快さを訴えるため、マスクを着用させていない。感染防止策で園外の散歩は控えている。園長の女性は「夏場、冷房の使用頻度が高まればマスク着用も必要になると思うが、子どもたちは嫌がるし、どうしたらいいのか」と頭を悩ます。

■手洗いや換気しっかり

県立中部病院感染症内科の椎木創一医師は「小さい子はマスクを適切に着けられず、効果も少ない。熱中症などのデメリットの方が大きい場合もある」と説明。「それよりは手洗いや換気をしっかり行い、症状がある子は一緒に遊ぶのを控えてもらう。そういう設定が大事ではないか」と話す。

公園などに出掛ける場合、暑い時間帯を避け、移動時は着用、遊ぶ時は外す、移動先では小まめな水分補給と手洗いができるようにせッケんを準備しておくなどを提案する。「部屋の中でマスクを着けられない子が外を歩く時に着けられるとは考えにくい。そこはできる範囲でいい」としている。

■夏の屋外、危険な場合も

夏場のマスク着用は熱中症リスクを高めるとの懸念もある。専門家はマスクを過信せず、必要な場所や状況を見極めて着用するよう呼び掛ける。

椎木創一医師は「夏の屋外でマスクを着け続けるのは危険。マスク着用で運動し、体調を崩す例もある」と説明する。「人との十分な距離が取れ、換気がなされた屋外ではマスクを着用する必要はない」と話す。



道を歩いたり、散歩したり、公園で遊んだりする時などはマスクを着けることで、逆に熱中症や日射病が起きやすくなる。「そういう場所は人との距離も取りやすい。よほどの人混みでない限り、屋外でマスクを着ける必要はない」という。

■ケースに応じて着用を

買い物などで出歩く際、マスクは持っておいて、人が多くなる所では着用し、いない場所では外す、という行動を提案する。「これからはケースに応じて上手にそういうことができるというのが、熱中症や日射病にならずに感染も防げるというマスクの使い方だと思う」と指摘する。

一方、症状がある人や、症状がある人と接する医療従事者らはマスク着用が不可欠だとし、人との距離が取れない密閉した空間でも着用が必要だと強調した。

■夏場のマスク 主要な要点

□人との距離が取れる屋外はマスクなしも可

※症状がある場合は不可

・道を歩く、散歩する、公園で遊ぶ、買い物で出歩くなど

□冷房が使用され人との距離が取れない密閉空間では着用

・医療機関、冷房使用の教室など

□マスクは持ち歩き、人が多い場所では着用

・混雑時のスーパー、ショッピングセンターなど

□屋外での運動の授業はマスク着用を避ける工夫を



■学校では必要、運動は？

学校での対応については「限られた場所である程度集まって授業を受ける以上はマスクの活用を」と呼び掛ける。マスクの着脱やそれに伴う手洗いなどで、教員や学校の適切な指導が求められるという。

屋外での運動については「マスク着用を避ける工夫を」とし、距離を取り、離れてできる運動を取り入れるよう要望した。

2歳未満「マスクしないで」 窒息や熱中症リスク指摘 小児科医会

出所：朝日新聞 2020年5月26日

日本小児科医会は25日、2歳未満の子どもにはマスクは必要ないとする声明を発表した。呼吸がしにくくなるなど、むしろ危険な場合もあるとし、保護者らに注意を呼びかけている。

医会によると、乳児は呼吸器の空気の通り道が狭いため、マスクの着用は呼吸をしにくくさせ、心臓の負担になるという。ほかに、マスクそのものや嘔吐（おうと）物による窒息のリスクが高まる▽熱がこもり熱中症のリスクが高まる▽顔や唇の色、表情の変化など、体調の異変に気づくのが遅れる——などが懸念されると指摘している。アメリカ疾病対策センター（CDC）も、「2歳未満の子どもは窒息の恐れがあるため使わないで」としている。

日本小児科医会の神川晃会長は「マスクの中では熱が逃げず、熱中症の危険が高い。赤ちゃんは吐くことが多く、それによる肺炎や窒息の心配も出てくる」と話している。（熊井洋美）



新型コロナウイルス感染症に関するQ&A

出所：日本小児科学会ホームページ 2020年5月13日更新

Q 子どももマスクはしておいた方がいいですか？ マスクが出来ない場合はどうしたらいいですか？

A 感染している人のくしゃみや咳に含まれる飛まつを直接浴びないという観点からは、マスクをすることの利点はあるかと思いますが、小さな子どもでは現実的ではないと思われます。子どもの患者のほとんどは、家庭内において保護者から感染していますので保護者の方が感染しないこと、感染した方から2メートル以上の距離を保つことが子どもの感染予防につながります。

また、ウイルスに汚染されたおもちゃや本などに触れた手で、口や鼻、目を触ることで感染しますので、手洗いや消毒も大事です。



Q 幼稚園、学校などに行くことは控えたほうが良いでしょうか

A 子どもへの感染の多くは同居している成人（保護者）感染者からの伝播によるものです。現時点（2020年5月1日）では保育士からの子どもへの感染や子ども同士の感染は少なく、幼稚園、学校などへの通園、通学を自主的に控える理由はありません。

しかしながら、地域で子どもの患者が発生した場合、またはそれが想定される場合には、一定期間、休園や休校になる可能性があります。今後の流行状況に応じて、臨機応変な対応が必要となりますので、お住まいの地方自治体からの指示に従ってください。

また、各家庭内で感染者がでた場合は、その子どもは濃厚接触者として登校、登園を控えることとなります。また、厚生労働省から微熱や風邪の症状がある場合は、登校、登園を控えるようにとすすめられています。それらを守っていただくことが大事です。

学校を再開する上での留意事項

出所：文部科学省通知「・・・教育活動の実施等に関するQ & A」（2020年5月21日時点）

Q 手洗いは、どの程度の頻度で行えばよいのか。

A 外から教室に入る時、トイレの後、給食の前後など、こまめに手を洗う。手を拭くタオルやハンカチ等は共用しない。



Q 手指のアルコール消毒は必ず行わないといけないのか。

A 基本的には、流水と石けんで手洗いを行う。流水で手洗いができない場合には、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用する。

Q 園・学校内で共用される用具や備品はどのようにしたらよいか。

A 感染の要因の一つに、物品の共用による接触感染がある。共用を避けるのが難しいものについては、使用後手洗いをするように指導する。

Q スクールバスの運行はどのような点に留意すべきか。

A 3密が同時に重ならないようにする。さらに、
・多くの利用者が触れるドアノブ等を消毒する
・定期的に窓を開け換気を行う
・乗車前に検温し、発熱が認められる者は乗車を見合わせる
・過密乗車を避ける
・利用者の座席を離し、それが難しい場合は、会話を控えることやマスクの着用
・利用者に手洗いや咳エチケット等を徹底する

